

開校式と顔合わせを行いました

5月18日、堰本女性セミナーの開校式を堰本地区交流館大研修室で行い、受講生13名が参加しました。渋谷会長、末永生涯学習部会長があいさつし、伊達市教育委員会生涯学習指導員の佐藤裕一さん（元堰本小学校教頭）があいさつされました。佐藤さんには、今年度から梁川全体の生涯学習のご指導をいただきます。

年間学習計画を確認し、今年度受講生の顔合わせとして自己紹介をしました。今年度は菅野幸子事務局員が担当します。

第2回目の学習「お坊さんのお話」

6月17日、セミナーの第2回目、今回はいきいきカレッジとの合同学習会で、「お坊さんのお話」を二井田、円福寺住職（現箱崎の福蔵寺住職）の石井祐聖様にお話し、お話をいただきました。

そのお話の一部を紹介します。

一休さんの言葉から 失敗は自らの過ちを認めて考え直すことが大事である。また、二千五百年前にお釈迦様が言った言葉で 過去や未来ではなく、大切なのは今、朝は「やってみよう」。昼は「なんとかなる」。夜は「ありがとう」という気持ちの持ち方が大事。寓話の「ロバを売りに行く親子」や、日本童話の「桃太郎」お話などから得る教訓を楽しく目で、耳で頭で学習しました。

下の写真「お坊さんのお話」

開校式を開催

5月21日、堰本いきいきカレッジの開校式を堰本地区交流館大研修室で行い、受講生7人が参加しました。渋谷会長、末永生涯学習部会長があいさつしました。年間学習計画を確認しました。今回、愛宕山散策を計画しましたがあいにく雨の予報で、秋に延期しました。今年度は末永明部会長が担当します。

2回目は女性セミナーと合同

3回目の学習

小学生とグラウンドゴルフ

7月30日（金）大関・新田・細谷の長寿会の方々に指導をいただき、児童クラブの小学生20名の皆さんと校庭で、初体験のグラウンドゴルフを楽しみました。夏休み中の小学生は暑さに負けず、いきいきメンバーと一緒にホールポスト目掛けてボールを打っていました。



【地域の活動】

午・陽光台グラウンドゴルフクラブ



毎日元気に練習しています。

下・鈴竹のポピー畑  
佐藤正一さんの田一面のポピーの花々皆の目を和ませました。



カブトエビ発見!!

間野地内の水田に

6月1日、大関の小菅坂重春さんが、間野地内の水田で「カブトエビ」を見つけ、小学生に見てほしいと堰本小学校に持参されました。

「カブトエビ」は、億年も前の姿を今に伝え、水田に生息し、親は2ヶ月くらいで死滅するのですが、卵で越冬すると言われます。古代から同じ姿を保ち続け「生きた化石」と言われ、生命力にロマンを感じさせます。

これからも、生き続けられる環境を守ってやらなければと思います。

写真はほぼ実物大・約2センチ



事務局次長に

今村みさ子さん

鈴木一之事務局次長の退任により、今年度の事務局次長を今村みさ子さん（陽光台在住）に担っていただきます。



よろしくお願いたします。

編集後記

広報「里づくりせきもと」を発行してから3年目を迎えます。地域の活動を地域の皆さんと共有することがいかに重要か出来たかなと思っております。紙面作りはこの2年間携わった、鈴木前事務局次長の功績は大きかったと、今更ながら感謝しています。

今後堰本の出来事を根掘り葉掘り(?)しながら皆様にお届けします。皆様からのご意見等記事にしてお寄せいただければ、ありがたいです。

表紙写真は、7月30日開催の小学生とのグラウンドゴルフ。小学生のホールインワンもあり、皆で楽しみました！

人と地域を育む愛宕の里 せきもと

令和3年夏号 (第9号)

里づくりせきもと



# せきもとさとづくり推進協議会組織体制

令和3年度せきもとさとづくり推進協議会第6回総会は、今回も新型コロナウイルス感染拡大の中で書面評決で行いました。役員体制は2年の任期ですが、変更もありましたのでお知らせいたします。

## 三役・事務局

★事業：地域の拠点となる地区交流館維持管理・運営に関する事業

会長 澁谷基昌  
副会長 菅野吉・佐藤英吉・末永明  
事務局長 小賀坂光義  
事務局次長 今村みさ子（新）



事務局員  
菅野幸子・三浦裕子・小賀坂ロク

## 里づくり女性委員会

★事業：花いっぱい運動、古紙、アルミ缶等回収、防災訓練炊出等、各部会への協力 ※梁川踊り流し参加（今年中止）  
★メンバー：委員長 原田みよ子

副委員長 菅野かづ江  
佐藤るみ、渡辺晴子、菅野いね子、小賀坂トク、渡辺里子、渡辺ふみ子、澁谷美智子、清水 聖、佐藤美智子、原田美代子、船山智春、高橋幹子、堀江きよ子、高野寿美子、穴戸恵美子、佐藤久子

## 地域振興部会

部会長 佐藤英吉副会長  
★具体的事業：グラウンドゴルフ大会、里づくり標語（堰小児童）看板作成、せきもと太鼓クラブの創設、防火水槽塗装（環境美化）、花いっぱい運動（6月、9月）  
★メンバー：寺島幸男、菅野 茂、幕田栄吉、佐藤富蔵、津田幸信、佐藤賢一、橘 典雄

## 地域安全部会

部会長 菅野吉副会長  
★具体的事業：伊達市チャレンジデー参加、防災訓練（9月）、せきもと交流サロン、敬老会（社協と協議）、女性防火クラブ  
★メンバー：八巻忠雄、渡辺浩一、佐藤和広、渡辺憲雄、大橋重男、大友一浩、霜山 茂

## 生涯学習部会

部会長 末永明副会長  
担当 末永明副会長 = 「堰本いきいきカレッジ」  
担当 菅野幸子（事務局員） = 「堰本女性セミナー」  
★具体的事業：堰本いきいきカレッジ（10回予定）、堰本女性セミナー（10回予定）、健康料理教室（3回予定）、写真教室（2回予定）  
★メンバー：佐々木賢一、菅野源太郎、小賀坂ひとみ

## 広報委員会

★具体的事業：広報紙「里づくり せきもと」の発行事業（年4回）  
★メンバー：本多祐一、佐藤喜一、事務局次長、事務局員

## お寺さんコラム

### ワスレグサ



洞雲寺住職 柳澤智蓮

人の世が、思いもよらぬ疫病で混乱しようが、恒例のイベントが開催されようがされまいが、時とはどまることなく前へ前へと進む。認めるのも悔しいが、私たちは常に時間に翻弄されている。

夏が来ると私の寺の境内に巾をかかせて咲くのが「ヤブカンゾウ」。大雨に打たれても、容赦ない太陽が照りつけても、どんどん増えて、一日だけ咲く鮮やかなオレンジ色を誇る。

正直言えば、私はこの花の名も知らず、たくましい花だなあ、と眺めていたのだが、先日スマホで「花の名前がわかるアプリ」というのを手に入れ、初めてこの花の本名を知らせていただいた。その上、柄にもなく、花言葉なんでも調べてしまった。ヤブカンゾウの花言葉は、「忘却、憂いを忘れる」。万葉時代の人々が、その美しさのあまり、しばし憂いを忘れてしまおうと和歌に詠んだことからきたらしい。別名をワスレグサというそうだ。

図鑑のページを繰らなくても花言葉の本を探しに行かなくても一瞬で情報を得ることのできるスピード化、なんとありがたい。生活を向上させたいという人間の欲望で科学は発展し、生活はどんどん便利になる。すばらしいことだ。

一方、自分の欲望だけを満たそうとする我欲の方は際限がなく、スピード化と同時に加速して、足ることを知らずに欲しがり続け、人を傷つけてまでも押し通そうとする。様々なトラブルはすべて我欲から始まり、ひいては心配事を募らせ自らを苦しめる、という悪循環をもたらし、てしまう。

きっと古代の人々も当時のスピードであっても、同じ苦しみを感じていたのだらうと思う。だからこそ、原始の命を無欲に咲かせるヤブカンゾウを見て、その素朴な美しさで力強さに心を奪われ、悲しみや憂いを忘れるほどだと感じたのだらう。時と我欲に翻弄される私たちは、今も昔も本質は変わらない。

たくましく野や藪に咲く鮮やかなワスレグサことやブカンゾウを見ながら、古代からの魂の歌に思いを馳せ、心に詰まってしまうような憂いをしばし忘れるのも悪くないと思う今日この頃である。



## 地域の方々紹介



片平芳江さん  
上原町内会  
会社員

題字を担当させていただいた片平芳江です。墨雅書道会（本部郡山市）所属、渡辺雨月先生に師事、書歴は約二十年、雅号は藍月（らんげつ）です。

今回掲載していただいた作品は近代詩というものです。好きな歌、句を好きな字体で自由に描くものです。書道を習い始めたときから好きなのですが難しく、いつか好きな書体で仮名等を加味しイメージ通りに表現する事を目標に精進しています。

題字のお話をいただいた時、堰本出身の私が好きな書道で役に立てるならと思い引き受けました。私は堰本小学校の桜が大好きなので、題字を書く際は堰本の風景を思い浮かべ書きました。文字を書くというより絵を書くイメージです。とても良い経験をさせていただきました。

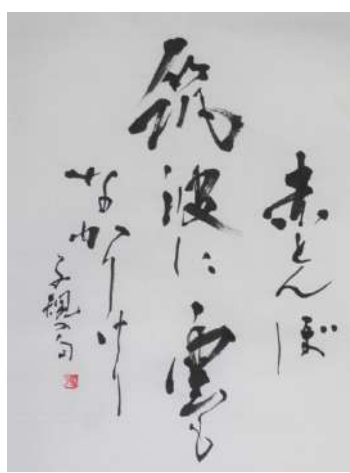
ご冥福をお祈りします  
せきもとさとづくり推進協議会顧問の市議・原田建夫さんが6月19日ご逝去されました。これまでの御貢献に対し謝意を表し、ご冥福をお祈りします。

## 花いっぱい運動 花苗植栽を実施

6月6日、堰本小学校西側道路際と、大関の県道旧道入り口、新田ふれあいセンターなどの花壇にマリーゴールド、サルビアの花苗各1,500本をさとづくり推進協議会理事の方々に植え付けしました。  
花苗は、県道を中心に道路沿いの美化活動として、県土木事務所からいただいで、各地の花壇・道路沿いに地域ボランティアとして毎年実施されています。大関地区、新田駅、ローソン前交差点、小学校前でそれぞれ作業にかり、植え付け後、水やりをしました。



意外に書道は体力が必要で、従来だとバレーボールで足腰を鍛えていたのですが、コロナ禍で出来ないためとても残念です。書道も例外ではなく毎年恒例の書展が中止を余儀なくされました。ただ、過去にバレーボールの大会、書道のイベントでは様々な出逢いを経験しているのでコロナ禍の今でも思いつくだけでも幸せな気持ちになります。コロナが終息したら皆に逢える、お酒が飲めて積もった話が出る等の楽しみがあると感染防止に少しでも協力しようと思えます。もう少しの辛抱ですね。  
題字を担当させていただいた事、この原稿を書かせていただいた事に感謝します。  
ありがとうございました。



（赤とんぼ 筑波に雲も なかりけり 子規）